

茄物

き庭に生たるなをつみてむし物。といふものにして、ちやうわんにもりて、はしには梅のはなの  
さかりなるをおりて、その花びらに、いとおしげなる女のてにてかくかけり、  
君が爲衣のすそをぬらしつ、春の野に出てつめるわかなぞ

〔新撰字鏡〕火燂、同土冷徒燂二反、以菜入三、湯曰燂、煮也、奈由豆、

〔倭名類聚抄十六〕茄 文選傳玄詩云、厨人進菴茄、有酒不盈杯、茄音人恕反、由天毛

〔箋注倭名類聚抄四〕菜 文選所載傳玄詩、只有雜詩一首、所引句無有、按太平御覽載傳玄是句、疑源

君從修文殿御覽引之、誤爲出文選也、又按江次第二孟句、條有善茄、蓋從此所訓、然茄訓菜、見後漢

書馬融傳注、茄本訓、飲馬轉爲凡食、又爲食菜、遂謂菜爲茄也、然則傳玄詩、菴茄猶言菴菜、不得訓由

天毛乃、又說文、霽、內肉及菜湯中、薄出之、霽又作淪、玄應音義引通俗文云、以湯煮物曰淪、又廣雅、燂

燂也、龍龕手鑑、燂湯淪菜也、新撰字鏡、以菜入涌湯曰燂、煮也、奈由豆釋名、生淪葱韭曰兌、言其柔滑

兌々然也、此可以充由天毛乃、

〔下學集下〕飲食 茄物

〔運步色葉集〕遊 茄物 茄 燂 膾同 煮熟也

〔東雅十二〕飲食 茄 ユデモノ 倭名鈔に、文選註に見えし、霍茄を引て、茄讀でユデモノといふなり、内則

註に據るに、淪は肉菜湯中薄熟出之と見えたり、さらばユデモノとは、湯より出ぬるものを云ひ

し也、

〔倭訓栞前編〕由 三十五 ゆでもの 倭名抄に茄をよめり、湯より出す意也、内則注にも淪は肉菜湯中

薄熟出之と見えたり、新撰字鏡に燂をなゆづと訓せり、以菜入涌湯曰燂と注せり、今俗うでもの

といふも、うとゆは横通せり、今のしたし物是也、

〔倭訓栞中編〕十 したしもの 西土にいふ茄也といへり、